

**若葉区・緑区の鹿島川流域において中型獣の集中捕獲を実施します
～モデル地区を設定し、地域ぐるみで農作物の被害軽減を図ります～**

千葉市では、アライグマ、ハクビシン等中型獣の定着を防ぎ、農作物の被害軽減を図るため、令和5年度から中型獣の集中捕獲事業を実施しています。令和7年度は新たに若葉区小間子町・富田町をモデル地区に設定し、集中捕獲を実施しますので、お知らせします。

1 目的

本市の令和6年度の有害鳥獣被害額は約1,050万円で、そのうちアライグマ、ハクビシン等の中型獣による被害額は約425万円と約40%を占めています。

本市では令和5年度から、専門知識を有する農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの協力の下、各年度モデル地区を設定し、中型獣の集中捕獲を実施しています。なお、本事業は地域による自走化を見据えて、体制づくりを2年間かけて支援するもので、3年目以降は地域による自走化を目指しています。

2 概要

(1) 実施主体等

ア 実施主体

千葉市鳥獣被害防止対策協議会

(構成 J A千葉みらい、千葉市猟友会、千葉市等)

イ 協力先

合同会社AMAC (エーマック)

(2) 実施地区

①若葉区小間子町・富田町

②緑区下大和田町他周辺3町(若葉区中野町、緑区下大和田町、上大和田町、土気町)

(3) 実施時期・規模

8月20日(水)～11月20日(木)

箱わなを各地区50台設置

(4) その他

- ・捕獲に当たっては、合同会社AMAC、千葉市猟友会に加え、モデル地区内の農業従事者等にもわなの見回りや捕獲された際の連絡等を依頼し、地域一体となって捕獲作業を行います。
- ・安全のため、わなを見かけても触らないでください。
- ・令和5年度から中型獣の集中捕獲を実施している若葉区下田町他周辺4町(若葉区旦谷町、谷当町、下田町、下泉町、大井戸町)においては、地域が主体となり、捕獲活動を継続しています。



箱わなの例

3 今後の方向性

本取り組みの成果は、被害報告のある他地区における捕獲でも活用し、農作物被害の軽減に努めます。

＜参考＞中型獣の集中捕獲事業実績

令和５年度 若葉区下田町他周辺４町で実施（１地区、設置わな数５０台、８１頭捕獲）

令和６年度 若葉区下田町他周辺４町、緑区下大和田町他周辺３町で実施（２地区、設置わな数計１００台、計１６１頭捕獲）